

日本ALS協会

秋田県

支部だより

第67号





次

令和3年度日本ALS協会秋田県支部総会(書面)資料

活動経過報告書	2
会計報告書	4
会計監査報告書	5
活動方針	6
会計予算書	7
秋田県支部役員名簿	8
秋田県支部規約	9
新聞掲載記事	10
事務局員のつぶやき	
ALSを取り巻く環境	11
思い出	11
私の願い	12
ラジオ大好き	13
ALSとのお付き合い	13
最近興味を持っているポジティブな心理学のこと	14
事務局からのお知らせ	
ALSケアガイドの注文について	16
ボランティアの募集について	17
ご寄付ありがとうございました	18

入会申込書

令和3年度日本ALS協会秋田県支部総会(書面)資料

令和2年度 活動経過報告書

年	月	日	事 項	場 所	内 容
R2	4	11	事務局会議	長谷部宅	令和2年度秋田県支部総会について 日本ALS協会本部の意向で6月開催予定 の支部総会は中止とする。総会資料は 支部便りで中止のお知らせとする。
	5	23	事務局会議	長谷部宅	支部便り発送 445部
	6	14	事務局会議	支部長宅	本部総会は7月25日(土)書面開催とな る。代議員は星さんとする。 講習会と交流会を11月14日遊学舎会議 棟予約
	7	11	事務局会議	支部長宅	講習会と交流会 開催するかどうかの最終決定は、9月末 に行う。
	8	29	事務局会議	支部長宅	講習会と交流会 講師とスタッフのみで開催する。 開催内容をYouTubeにアップする。 第65号支部便りについて
	9	26	事務局会議	支部長宅	講習会と交流会 第65号支部便りについて
	10	24	事務局会議	支部長宅	11月講習会・交流会の案内ハガキ発送 講習会・交流会の役割分担
	11	4	患者訪問	美郷町	長谷部・佐藤・岸本参加
		14	講習会・交流会 事務局会議	遊学舎会議棟	第65号支部便りについて
	12	19	支部便り発送	長谷部宅	第65号支部便り451件発送
		25	事務局会議	リモート会議	新規会員への対応 今後リモート会議とし、ツールは LINEとする。

年	月	日	事 項	場 所	内 容
R 3	1	23	事務局会議	リモート会議	赤い羽根共同募金からの助成について 新規患者について 令和3年度秋田県支部総会について
	2	9	患者訪問	男鹿市	佐藤・木下・鈴木
		20	事務局会議	リモート会議	昨年同様に新型コロナウイルス感染症のため総 会開催は中止とし、支部便りでの書面 開催とする。 支部便り66号は5月発送とする。 支部役員について
	3	13	事務局会議	リモート会議	日本ALS協会本部総会 代議員 星さん 支部役員について 第66号支部便りについて
		14	全国事務局長・ 有志会議	リモート	安保・長谷部・鈴木参加



令和2年度 会計報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収 入	1,102,704	(単位：円)
支 出	704,626	
差し引き	398,078	(次年度へ繰越し)

《収入の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
日本ALS協会より	130,000	181,500	51,500	活動助成金
皆様よりの寄付	400,000	367,540	-32,460	47名、1団体
歳末助け合い	120,000	190,000	70,000	難病連経由
雑 収 入	0	1	1	貯金利子
前年度繰越金	363,663	363,663	0	
計	1,013,663	1,102,704	89,041	

《支出の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
支 部 だ よ り	300,000	313,280	13,280	印刷製本費(65号・66号)
活 動 費	300,000	99,221	-200,779	交流会、会議費、HP
通 信 費	200,000	106,235	-93,765	送料、切手、ハガキ、電話
事 務 費	100,000	56,274	-43,726	宛名シール、事務用品
負 担 費	30,000	26,400	-3,600	秋田県難病連
図 書 購 入 費	10,000	10,152	152	ケアブック
予 備 費	73,663	93,064	19,401	JALSA会費送金等
計	1,013,663	704,626	-309,037	

会計監査報告書

私たちは、日本 ALS 協会秋田県支部の令和 2 年度会計について、下記により
監査したので報告します。

期日：令和 3 年 4 月 3 日（土）

場所：事務局所在地（長谷部副支部長宅）

対象：貯金通帳、郵便振替受払通知書綴

受払領収書、金銭出納整理簿

結果：今回の会計監査にあたり、会計監査対象範囲に不正不明な箇所がなく

適正と認めました。

役員の立合いのもと実施しました。

令和 3 年 4 月 3 日

会計監査者

田村 沙央里 

会計監査者

山口 貴美子 

令和3年度 活動方針

1. 支部便りの発行や研修会の開催などを行います。

ALS患者の療養改善に役立つことを基本に、生きがい発見につながる患者さんからのご便り、医療福祉の専門職やボランティアなどからの情報など、参考になることを紹介します。また、療養に関する研修などを行います。

※皆様の情報や質問、提案、写真等、事務局にお寄せ下さい。

2. 患者訪問や地域交流会に努めます。

患者さんの療養環境を把握することにより、活動の活性化と、孤立しないための連携強化に努めます。また、地域世話人と連携協力し、県難病医療ネットワークへの対応も含め、患者会員のネットワークの充実に努めます。

3. 介護保険やその他の相談に対応します。

お困りごとは気軽に秋田県支部までご相談下さい。問題解決のため関係機関に働きかけをします。

4. 障害福祉機器の支援を行います。

意思伝達装置やコール、文字板などの操作の仕方、トラブルなど相談体制を整えます。

※お困りの方はご相談下さい。

5. ホームページの運営をします。

ホームページを活用し、皆様への情報提供やお問い合わせ、相談等に対応します。

6. 日本ALS協会の会員を募集します。

会員会費は、年間4,000円/人で、この会費をもとに各県支部に活動助成されます。

会費納入先 『加入者名:日本ALS協会』 郵便振替口座 No.00170-2-9438
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-1-7 カーサ九段 405
TEL:03-3234-9155 FAX:03-3234-9156

※日本ALS協会の入会ご案内は、支部事務局または、支部だより巻末にあります。
また日本ALS協会ホームページからもお申込できます。

令和3年度 会計予算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

収 入	1,048,078	(単位：円)
支 出	1,048,078	
差し引き	0	(次年度へ繰越し)

《収入の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
日本ALS協会より	130,000	180,000	50,000	活動助成金
皆様よりの寄付	400,000	350,000	-50,000	
歳末助け合い	120,000	120,000	0	
雑 収 入	0	0	0	貯金利子
前年度繰越金	363,663	398,078	34,415	
計	1,013,663	1,048,078	34,415	

《支出の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
支 部 だ よ り	300,000	320,000	20,000	印刷製本費(67,68号)
活 動 費	300,000	300,000	0	総会、交流会、会議費、HP
通 信 費	200,000	200,000	0	送料、切手、ハガキ、電話
事 務 費	100,000	100,000	0	事務用品、宛名シール
負 担 費	30,000	30,000	0	秋田県難病連
図 書 購 入 費	10,000	10,000	0	図書(新ALSケアブック)
予 備 費	73,663	88,078	14,415	JALSA会費送金等
計	1,013,663	1,048,078	34,415	

令和3年度 秋田県支部役員名簿

役職名	氏名	備考
支部長	中村朝夫	患者
副支部長	安保瑠女	患者
事務局長	長谷部ひとみ	遺族
事務局員	鈴木光子	専門職
	岸本あや子	支援者：会計担当
	木下彩子	専門職
	齊藤康子	患者家族
	星佳子	専門職
	佐々木奈々子	専門職
	武田佳子	専門職
会計監査	佐藤夕子	専門職
	田村沙央里	専門職
相談役	廣田紘一	医師
	豊島至	医師
	石黒英明	医師
	芋田強	医師
	小林道雄	医師
	和田千鶴	医師
	菅原正伯	医師
	鎌田幸子	医師
	大川聡	医師
	原賢寿	医師
	柴野健	医師
	松本るい	遺族・大潟村
	山口貴美子	専門職
地域世話人	櫻田美穂	専門職・能代市
	田中清和	遺族・横手市
	梅川素子	遺族・横手市

日本 ALS 協会 秋田県支部規約

設 定：昭和 61 年 5 月 10 日（改：H11.9.4）（補正：H23.6.18）

1. 本会は日本 ALS 協会秋田県支部（略称：JALSA 秋田）とする。
2. 本会は、地域社会への啓発と ALS（筋萎縮性側索硬化症）をとりまく療養環境の改善を図ることを目的とし、日本 ALS 協会本部と緊密な連携をとりながら、次の活動を行う。
 - ①会員相互の交流、研究活動
 - ②患者の療養環境改善のため、常に関係者と連携し充実をめざす。
 - ③未入会患者家族への常に関係者と連携し、充実をめざす。
 - ④ALS について啓蒙や情報活動に努める。
 - ⑤その他
3. 会員は、原則として秋田県内在住の日本 ALS 協会正会員、賛助会員、特別会員をもって構成する。
4. 役員は次のとおりとし、任期は原則として 1 年、再任を妨げない。
支部長、副支部長 2 名、事務局長、運営委員（事務局）若干名、会計監査 2 名、そのほかに相談役、地域世話人を設ける。
5. 支部長は総会や役員会を開き、支部の運営に当たる（必要に応じ、地域交流会を開く）。
6. 支部総会は原則として年 1 回とし、次のことを決める。議決は出席者の過半数をもって成立する。
 - ①役員選出
 - ②活動報告、決算報告
 - ③活動方針、予算の決定
 - ④規約の改廃、その他
7. 事務所は支部長宅に置くことを基本とする。
8. 支部活動に必要な経費は寄付金、助成金、その他の収入でまかなう。
9. 会計年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

2015年から支部長として活躍されている安保さんの選挙への思いが、あきた魁新聞に掲載されましたので、支部長挨拶に代えてご紹介します。

待ってても手に入らない

あきた知事選

声

有権者に聞く

1

病気になってから投票に行き始めました。福祉サービスを利用するうちに「自分が望む生活は待ってても手に入らない。自ら動かないといけない」と気付いたから。

投票する際の基準は候補者の発信力、実行力、安定感。票欲しさに良いことばかり言って、実際は何もできないのでは困ります。福祉サービスに関する政策だけでなく、候補者の人柄も見て直感的に決めます。

ALSは体を動かすための神経が徐々に侵され、全身の筋肉が動かなくなる病気です。2017年に誤嚥性肺炎になったのを機に、気管切開をして人工呼吸器を付けました。歩くことも、食事をすることも、呼吸をすることも健康者のようにはいけません。ヘルパーさんに手伝ってもらいながら、1人暮らしを続け

在宅で暮らすALS患者 安保瑠女さん(43)=秋田市

ています。

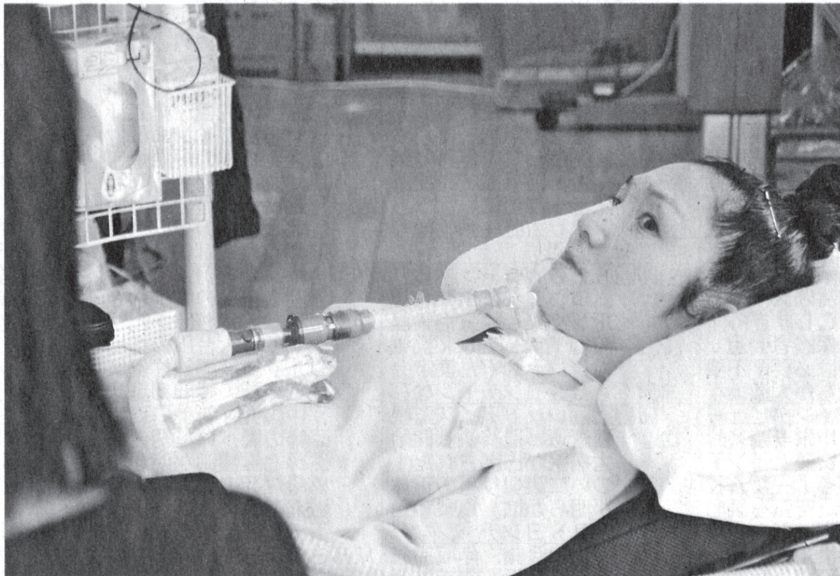
新型コロナウイルスの影響で、今回は投票に行けるか、まだ分かりません。19年秋に肺の病気を患い、その病気とも闘っています。もしコロナにかかったら、多分、死んでしまいます。

そのことをヘルパーさんたちも分かっているのに、不安の中で働いていると思います。医療従事者向けのワクチン優先接種が進められているけれど、訪問介護に関わっている人たちにも、早くワクチンを接種してほしい。

重い障害がある人たちは、子どものころは家族が介護して、大変になると施設や病院へ移るのが「常識」です。施設や病院では決められたルールの中で生活しなくてはいいけない。管理されるのが嫌で、地域の中で自分らしく暮らしたいと考える障害者も、たくさんいます。

今は健康な人も障害者にならないとは限らない。もしそうであっても、周囲の支援を受けながら自分らしく生きることができれば、障害なんて怖くない。楽しく暮らすことができます。秋田県の知事には、そんな地域づくりを進めてほしい。

自立かなう地域実現を



介助者を通して取材に答える安保さん

自立とは、自分で考えて行動し、その結果がうまくいかなくても責任を持つことだと思ふ。自立した生活こそが私の生きがいです。
(安保さんは発声できません。)

目の動きで一文字一文字を介助者へ伝える「口文字コミュニケーション」で取材を行いました
(聞き手＝斉藤賢太郎)

知事選が告示され、4月4日に投票日を迎える。県内の有権者は84万9560人(17日現在)。同じ1票でも、一人一人さまざまな背景があり、それぞれの思いが宿る。有権者の声に耳を傾けた。

あんぼ・るめ 難病の筋萎縮性側索硬化症(ALS)を約15年前に発症。ヘルパーの手を借りながら秋田市内の自宅で暮らす。患者や家族でつくる日本ALS協会の県支部長。障害者の地域での暮らしをサポートする団体「自立生活センターくらすべAkita」の代表も務める。

ALSを取り巻く環境

長谷部 ひとみ

今世界は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と戦っている真っ最中である。日本でもワクチン接種が始まって、一刻も早い収束が待たれる状況にある。

ALSを取り巻く環境もここ10年で大きく変わった。30年前は人工呼吸器を自費購入して在宅療養に入った患者さんがいたが、今や介護保険や重度訪問介護などの制度を利用して、在宅で生活する患者は増えている。まあ、ALSの場合は入院できる病院の選択肢が限られているから、在宅療養せざるを得ない場合もあるかもしれない。

いずれにしても、難病患者・障害者がSNSを利用してさまざまな情報発信を行っている現在の状況は、昔は想像もできなかったに違いない。日本ばかりでなく、海外ともオンラインで繋がって会議ができる時代である。しかし本当に皆幸せに在宅生活を送れているのだろうか。現実にはヘルパーの確保や訪問看護の充実に苦心している人は多い。

私たち日本ALS協会秋田県支部は会員のニーズに応えられているのだろうか。ボランティア組織なので限界はあるにしても、なるべく多くの相談に対応し、機会をみて患者訪問を継続したいと思っている。

今患者会は会員減少と財政難に苦しんでいる。患者本人や家族でなくても、周囲の支援者を増やすことで、トータルで底上げが図れると信じている。ボランティアは楽しくなければ続かない。これからも小さな楽しみを見つけながら、県内患者のQOL向上に貢献できれば幸いである。

思い出

佐藤 夕子

ALSとかかわったのは、県内で開催された講演会で松本夫人とお会いしたことから始まった。夫人は私が看護職と知って「看護婦さんならALSの患者さんの療養を手伝ってよ」と言われた。その頃私はまだALSの病気の実態を知らなかった。故松本さんを訪ね病気の実態を知りながらの活動でした。

現在40代に入った子供たちはその頃まだ小学生。彼らも多くの事を患者さんから、松本さんから学んだと思う。私自身高齢になりなかなか活動ができないながらの毎日です。

私の願い

鈴木 光子

秋田県支部事務局員のお手伝いをして20年になりました。ALSの患者さんからたくさん学ばせて頂き、私が出来るお手伝いがあればと続けて来ました。仕事をしながら続けてこられたのは、患者さん自身が声をあげて福祉制度がどんどん増えてきたことが、何よりも嬉しく、やりがいを感じる事が出来たからです。首都圏では24時間他人介護で自分らしい生活を送る中、家族が疲弊しながら介護を続ける現状はどうしたら変えられるのかを考え続けました。

都会に住んでも、地方に住んでも24時間他人介護で自分らしい生活を続けるためには、どう支援していったら良いのか？疑問でした。誰かが助けに来てはくれません。快適な生活は向こうから手を振って「ヘルパーは要りませんか？」とは絶対に来てくれません。患者さん自身がどんな支援を受けて、どう自分の「生きる」かを実現するための手段として、ご家族に負担を強いて実現するか、それとも自分の生き方に共感して、人生を賭けても支援しようと感じてもらえる生活を手に入れるのかでは、生活の質が大きく変わると思います。毎年支部総会でお会いする患者さんが支援者とともに元気にお会いできる事が楽しみでした。支部総会がまた患者さん自身の生きる目標となり、お会いできるようになるまでもう少し続けようかと思っています。コロナに負けず、ALSに負けず、支部総会での出会いを楽しみに皆さんも、もう少し頑張ってみませんか。



ラジオ大好き

岸本 あや子

ラジオ大好きだ。土曜日の朝は「石丸謙二郎の山カフェ」を聞いています。

NHKテレビのうたコンで石丸幹二さんを見てからこのラジオをこの人がやっているんだと思い込んでしまいました。この声は同じだと。

ところが1月中旬石丸幹二さんがコロナに感染したと新聞に載りました。

これは大変だ、今週の山カフェはどうなるのだろうとラジオをつけると普通どおりにお話していました。そこでようやく石丸謙二郎と石丸幹二は名前がちがうじゃないかと気が付きました。自分の思い込みにぞっとしました。これだとオレオレ詐欺に真っ先にひっかかってしまう。困ったことです。

思い込みで困ったことは何回かあります。砂糖と塩を間違えたこと。小豆を煮ていて自信をもって塩をどっと入れてしまいました。同じ容器が二つ並んだのを使っていたのです。それから塩の容器を変えました。

うっかりとか思い込みが多くなったように思います。どうしたものか。というところです。

ALSとのお付き合い

木下 彩子

私がALSをちゃんと知ったのは、今から17年程前になる。職場の人に誘われて県支部総会に参加した。それまで難病の方との接点はパーキンソン病の患者さんのみ。ALSとは？のレベルだった。その中に強烈な印象のご夫婦がいた。それが故松本さんと妻のるいさんだった。松本さんご夫婦を見た時に、「この人達、秋田人じゃない！」と直感的に感じた。なぜなら、県外から移住してきた私が感じていた秋田人の印象とあまりに違っていたこと、行動的でALSをはじめ取り巻く環境と“闘っている”という印象を受けたからだ。

それから私のALSとのお付き合いが始まった。ALSの方ひとりひとりが、“闘わなくても自分らしい生活を送るには、どうしたらよいんだろう”を追い求めている自分がいる。

微力ではあるが、自分のできる範囲でALSとのお付き合いを続けていきたい。

最近興味を持っている ポジティブ心理学のこと

佐々木 奈々子

ある日、かつての同僚が本を出版しました。彼女は臨床心理士で、困った時の相談相手として頼りにしている人。著書は、幸せになる科学的な方法を調べる ポジティブ心理学をベースにした内容です。惹き込まれて一晩で読み切ってしまう面白さ。不思議なことに本を読むと、彼女が近くで優しく語りかけているような気持ちになりました。身近な人が書いた本を読むと、こういう気分が味わえるのだなあと感じています。

ポジティブ心理学を知ってから、辛いことがあっても絶望をすることなく、自分の中にあるネガティブな感情を認められるようになりました。そして、幸せは掴み取るものではなく、身近にあるもの、という風に考えるようになりました。

コロナ禍にある今、「楽しみを感じにくい」「とても疲れている」という方たちも多いと思います。幸せは、私たちの友達の友達の友達(3度の隔たり)まで伝わるのが分かっています。自由であり多様で、暮らしやすい社会を作るためにも、私たち 幸せになりましょう！

幸せとは、いったい何？

それではこれから、より幸せに 生きる方法 について、私が学んだ事をお伝えしたいと思います。幸せ感情は、脳内物質が関わると言われています。他人と比較しなくても、そのこと自体が幸せを与えてくれる「非地位財」を高めることが大切です。

人生における二つの財の違い

	特徴・例	脳内物質
地位財	人と比べることで幸せが得られるもの 学歴、収入、地位、物など。 長く続かない幸せ。	ドーパミン
非地位財	そのこと自体が幸せを与えてくれるもの。 健康、愛情、自由、やりがいのある仕事など。 長く続く幸せ。	セラトニン オキシトシン

『世界に通用する子どもの育て方』松村亜里氏 2019年より

幸せを高め持続させる行動習慣

エリア	行動習慣
心理的健康	感謝する、人生の喜びを深く味わう、フローを増やす、楽観的、考えすぎない・比較しない、問題対処スキルを身につける
身体的健康	身体を大切にする(運動、瞑想、栄養、休息)
社会的健康	(つながり)人間関係を大切にする、親切にする、人を許す (キャリア)やりがいのある仕事、経済的に安定する
全てに影響	強みを知って、使っている

『世界に通用する子どもの育て方』松村亜里氏 2019年より

幸せに大きく影響しているのは、収入や学歴よりも、自分で決められることや健康、対人関係で、心や身体、社会のバランスが大切であることが分かります。

強みを育もう

そして、全てに影響をしているのは、自分の性格の「強み」を知って使っていることです。強みを知るだけで幸せは9.5倍、使えるようになると19倍にもなるといいます。まずは自分の強みを知ることから。VIA性格研究所のウェブサイト<https://www.viacharacter.org/>にアクセスしてみてください。あなたがそこにいるだけで、醸し出される強みが分かります。ちなみに私の強みトップ5は、1審美眼、2親切心、3愛情、4向学心、5忍耐力。面白い事に、状況に応じて強みの順位は変化します。そう、いつからだって人は変われるのです。

唯一無二のあなた

幸せが伝播する様子は、シャンパンタワーに例えられます。一番てっぺんの「私」が満たされると、満たされた感情は、家族→友達→地域へと広がっていきます。私たち誰しもが、幸せになっていいのです。つい人からの承認を求めてしまうけれど、自分を、自分で幸せにするための方法を知りましょう。幸せな人は繋がっていくから。



参考文献と私
付箋でいっぱいの本

『24の性格診断で あなたの人生を取り戻す 強みの育て方』

著者：ライアン・ミニック、ロバート・マクグラス 監修：松村亜里

『世界に通用する子どもの育て方』 松村亜里

『お母さんの自己肯定感を高める本』 松村亜里

松村亜里／ニューヨークライフバランス研究所代表 <https://lifebalancenyc.org/>

2020年
9月発行!

ALS ケアガイド

ALS と告知された患者・家族に最初に手に取ってほしい本
(筋萎縮性側索硬化症)

ALS患者や家族に最初に手に取ってもらえるように
分かりやすく読みやすい内容となっています。
各章ごとに患者や家族の体験談が掲載されていて、
その時々課題もイメージしやすくなっています。
患者、家族ばかりでなく、支援されている人たちにも
是非読んでほしい一冊です。

「ALSケアガイド」の購入申し込みは、
お住いの地域の支部へお願いします。

目次

- [1] ALS とは
- [2] ALS と診断されたら
- [3] ALS の症状と治療
- [4] 治験について
- [5] 保険について ～民間保険における相談事例～
- [6] 生活支援
- [7] 運動障害が起こったら
- [8] 嚥下困難（むせこみ、飲みにくい）があったら
- [9] 呼吸が困難になってきたら
- [10] 呼吸リハビリテーション（カフアシスト、LICトレーナー）
- [11] コミュニケーション
- [12] レスパイト入院
- [13] 医療的ケア（痰吸引）について
- [14] 災害への備え
- [15] ALS と共に生きる

日本ALS 協会のあゆみ

[資料] 在宅療養を支える制度

B5版 110頁
頒価 1,500円

お問い合わせ

一般社団法人 日本 ALS 協会

TEL03-3234-9155 FAX03-3234-9156

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7カーサ九段405



協力してくださる方を募集しています

秋田県支部では運営を手伝ってくださるボランティアを募集しています。

□ 主 旨

支部の活動は、この厳しい ALS(筋萎縮性側索硬化症)で闘病されている方達と共に、日本 ALS 協会と連携をとりながら療養環境改善や社会への理解を深めることを基本にして、具体的には下記のような活動をしております。

□ 具体的活動

- 1) 総会を開催して、会員互いの理解と交流を図っています。
- 2) 研修会を開催します。
- 3) 患者さんたちへ訪問します(慰問と話し合い・闘病の課題確認など)。
- 4) 患者さんの相談ごとを受けたり、関係行事や情報を発信したりします。
- 5) 支部だよりを年 2 回発行し、情報の基幹としています。
- 6) 事務局会議を月 1 回(土曜日)開催しています。
- 7) その他 ALS 患者を支援する事項に対応します。

□ 現在の事務局

現在、事務局は医療関係者・患者家族・ALS 患者などさまざまです。どなたでも力を貸していただければ大変助かります。

□ 募 集 対 象

年齢・性別・経験等は問いません。

自分の持つ能力を前向きに、他人のためにも生かそうと意欲をもっておられる方。

□ 連 絡 先

住 所 : 〒010-0003 秋田市東通7-4-26 長谷部方

電 話 : 090-5838-3606 (事務局)

F A X : 018-832-8778 (事務局)

Email : als-akita@outlook.com

日本 ALS 協会 秋田県支部



ご寄付ありがとうございました

2020年4月1日～9月30日 敬称は省略させていただきます

芳賀友子	八峰町
秋田友の会	秋田市
高橋節子	秋田市
岩井和代	秋田市
和田千鶴	由利本荘市
菅原トシエ	高知市
渡辺アチ子	青森市
米谷克雄	秋田市
橋本みさお	秋田市
千葉健悦	福島県
藤田英博	大潟村
藤原秀行	秋田市
佐々木奈々子	高知市
大和田 勉	秋田市
田口和也	秋田市
櫻田美穂	秋田市
木村真澄	大仙市

皆様の心のこもるご寄付は、支部活動の源となっております。

ご厚志に深く感謝申し上げます。

郵便振替

口座番号：02510-3-7658

加入者名：日本ALS協会秋田県支部

ご寄付のお振込みは、上記へお願いいたします。

* 日本ALS協会へ入会希望の方は、巻末『入会申込書』をFAXしますと
会費納入の振込票が送られてきます。



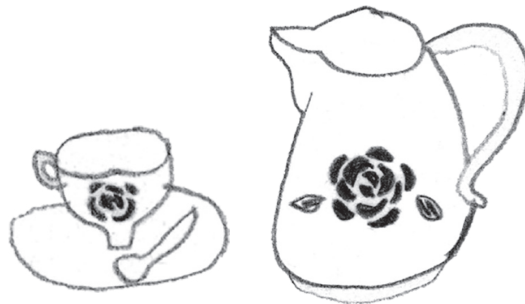
編集後記

昨年より感染が始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。この1年でワクチンが開発され、驚くべき速さで人間はウイルスに対抗していると感じる。自分の身近では、今まで常識だと思っていたことが覆され、新しい様式が当たり前になりつつある。

そんな中でも土筆は顔を出し、桜は咲き、風に春を感じる今日この頃、ホッとしませんか？世の中は、いろいろなことがあっても季節は変わらずに巡ってきます。

さて、今年も皆様と集まっての総会を断念し、書面でお知らせしようと思えます。

今後は感染予防策をとり、方法を工夫しながら皆さんと交流できる機会を模索し、活動を続けていきたいと思えます。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。（あ）



NHK 歳末たすけあい



赤い羽根共同募金

この支部だよりは歳末助け合い共同募金の助成金で発行しています